

# ヘルスリテラシーを育むN I E活用の可能性

保健体育科 佐藤 健太

## 1. はじめに

新学習指導要領では保健の「見方・考え方」として、健康・安全の視点から情報を捉え、健康の保持増進や疾病リスクの減少、Q O Lの向上を考えることが新たに加えられた。年間を通じて保健に対する興味・関心を持続させつつ、保健の見方・考え方（ヘルスリテラシーの育成）へとつなげていける実践について検討を重ねた結果、N I E（Newspaper in Education）の活用可能性を感じ、継続的なスクラップノート作成の指導へと行き着いた。スクラップノートの作成が生徒の保健学習に対する意識や学び方にどんな影響を及ぼしたのか、またヘルスリテラシーの育成にどういった効果がみられたのかをまとめ、成果と課題及び今後の展望について報告を行った。

## 2. 発表概要

まず、本校は文科省よりS G Hの指定を受け、2年次に「持続可能な社会の探究 I（以下、探究 I）」を実施していることを紹介し、探究活動との接続性や親和性を意識しつつ、1年次の保健の授業づくりや教材開発に取り組んでいることを報告した。それをふまえ、本実践のキーワードとなる『N I E』、『ヘルスリテラシー』について、生徒に取り組ませたスクラップノート作成を例に、その成果と課題について発表した。コツコツとスクラップを継続した生徒は満足感や達成感を味わうとともに、日常的に保健へのアンテナを張り、ヘルスリテラシーの向上に寄与した一方、継続的な作業が苦手であったり、家庭で新聞をとっていないかたりする生徒には負担感が大きく、前向きな取り組みに欠ける様子が見受けられた。中でも、ほとんどの生徒がスマートフォンを所持する現状から、こちらの求めていた紙媒体（新聞）のN I E以外に、web ニュースやニュースアプリへとその範囲を広げざるを得なかった点についても触れた。今後の展望として、スクラップノートの質的向上を図り、授業で活用していくことや外部コンテストへの応募、評価規準の整備について述べ、発表を締めくくった。

## 3. 質疑応答

質疑応答では、新聞からのスクラップとweb ニュースからのスクラップとで内容に違いがあるか、またスクラップの質の低い生徒への指導について質問があった。紙媒体とweb とのニュースで大きな内容の違いはないものの、紙媒体からスクラップする生徒の方が情報量は多く、熱心に取り組む生徒が多いこと、意欲の低い生徒への指導に対しては、スクラップ作成の声かけをこまめに行うことや授業内において教員側から記事の紹介、タイムリーな話題の提供を行っているかと回答した。